



コセンダングサ(キク科) 舌状花はほとんど見えない。(センダングサでは見える)



ヒメムカシヨモギ(キク科) 白い舌状花がはっきり見える。



オオアレチノギク(キク科) 舌状花が殆ど見えない。



セイヨウノコギリソウ(キク科) 葉は2回羽状複葉。ノコギリソウは羽状でない。



アキノタムラソウ(シソ科) 茎先に紫色の唇形の花を輪生状につける。



ヤマハッカ(シソ科) 葉は広卵形で鋸歯があり、花穂に唇状花をまばらにつける。



ワルナスビ(ナス科) 茎に棘があり、葉に波状の大きい鋸歯がある。



セリ(セリ科) 葉は羽状複葉で、小さい白い花を笠のように多数つける。



オオニシキソウ(トウダイグサ科) 花は小さく
て白く、果実はとっくり形。



タカトウダイ(トウダイグサ科) 葉が5枚輪生し、
分枝した小枝の先に杯状の花を咲かせる。



エゾミソハギ(ミソハギ科) 葉は茎を抱く。



ミズヒキ(タデ科) 赤い小さい花がまばらに咲く。



ミソハギ(ミソハギ科) 葉は茎を抱かない。



ギンミズヒキ(タデ科) ミズヒキで花の白い変種。



アレチハナガサ(クマツヅラ科) 花冠は
淡青紫色で、穂が円柱形にのびる。



オトコエシ(オミナエシ科) オミナエシより
太く、花は白い。



ヤマノイモ(ヤマノイモ科) 葉は三角状で白い花穂が直立する。



ヘクソカズラ(アカネ科) 細長い釣鐘形で中心部の赤い花をつける。



ガガイモ(ガガイモ科) 葉は細長いハート形で、淡紫色の花をつける。



オヒシバ(イネ科) 茎先に小穂が2列に並んだ花序の枝を傘状につける。



マツカサスキ(カヤツリグサ科) 緑褐色の花が頭状に集まる。東京都の保護対象種。



コガマ(ガマ科) 円柱形の雌花序の上に短い雄花序がある。(長さはガマの穂の約半分)



ナツズイセン(ヒガンバナ科) 葉の出る前に花茎が出て花が咲く。



クサギ(クマツヅラ科) 白い花が萼から突き出て咲く。



ヌルデ(ウルシ科) 奇数羽状複葉で、葉軸に翼があり、小さい花を円錐状につける。



オニグルミ(クルミ科) 奇数羽状複葉が互生し、丸い堅果ができる。